

(1) 地域の課題 *

定住志向を高めるコミュニティの維持と充実

- ・人口減少傾向の歯止めになる定住志向を地域で高めていくためには、町内会による浅水川の美化活動などの活発な活動実績を活かしながら、地域のボランティア活動の充実を図るなど、地域の結びつきを高めていく必要があります。

集落の生活基盤の整備

- ・地域の集落は、豊かな自然や田園空間に囲まれた環境を維持しながら、生活道路、下水道、身近な公園などの生活基盤を整備する必要があります。

豊かな自然的環境や田園環境の保全

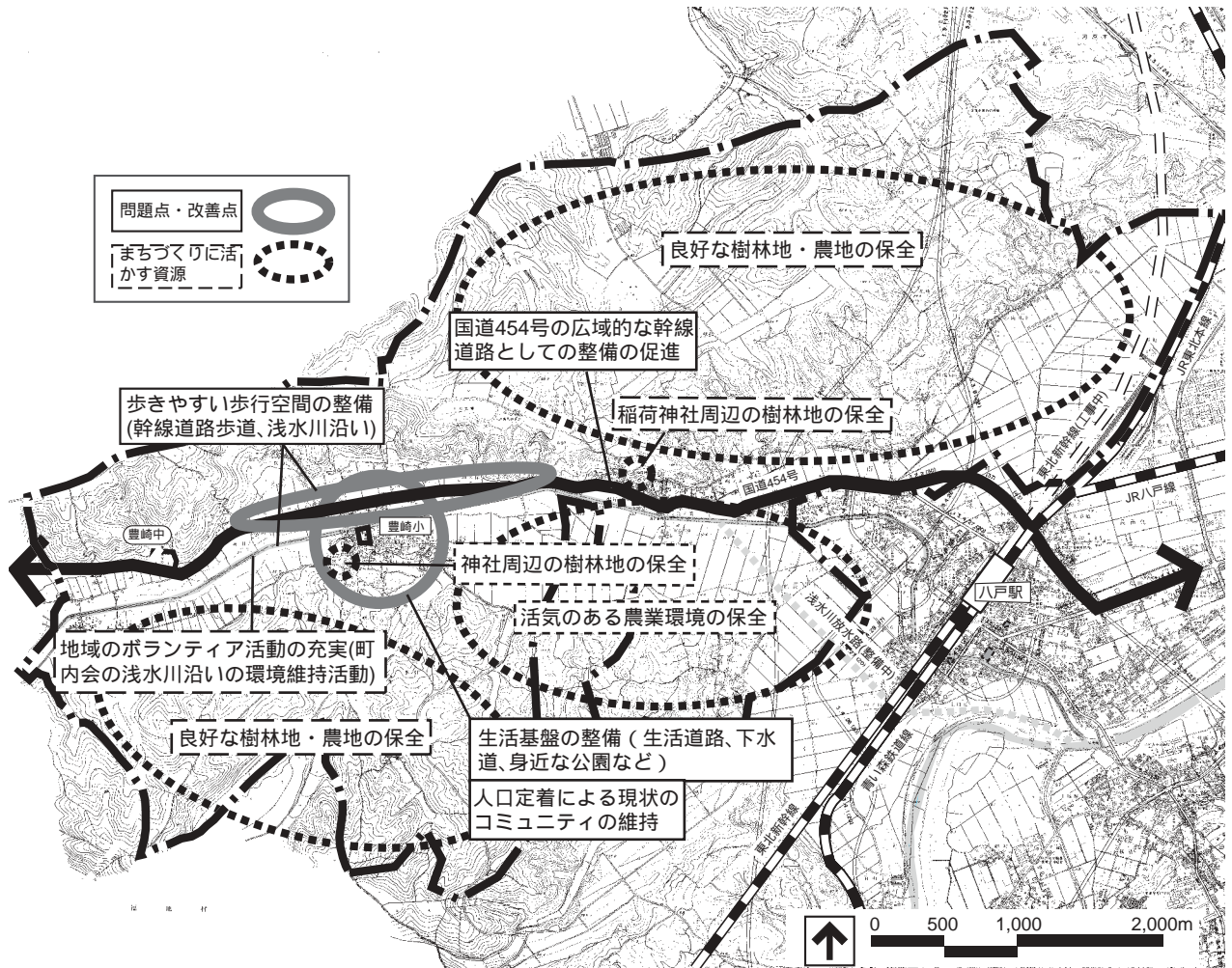
- ・浅水川や丘陵部の豊かな自然的環境や、広がりある水田や畑地などの豊かな田園環境の保全を図ることが必要です。

広域幹線道路の整備と歩きやすい歩行空間の確保

- ・国道454号の整備や日常生活で利用する道路の歩きやすい歩行空間の確保が必要です。



課題図



(2) まちづくりの目標

1) 地域のめざすべき方向

身近な緑をはぐくみ、コミュニティ豊かなまちをめざす

- ・ 寺社周辺の樹林地、丘陵地の緑、浅水川などの豊かな自然的環境を保全するとともに、浅水川の美化活動に見られる活発な住民交流活動などを活かして、水・緑と豊かなコミュニティをはぐくむまちづくりをすすめます。

豊かな田園環境と調和したまちをめざす

- ・ 浅水川沿いの水田や丘陵部の畑地などの農地を保全し、豊かな田園環境と調和したまちづくりをすすめます。

ゆとりとうるおいのある田園居住型のくらしをはぐくむまちをめざす

- ・ 豊かな自然的環境に囲まれながら、健やかにゆとりをもって住み続けることができるまちづくりをすすめます。

2) 将来像

美しい川と緑に包まれた田園居住のまち

浅水川が流れる田園地帯と緑豊かな丘陵に囲まれた農村集落が形成されていることが、豊崎地域の特徴です。

そうした美しい川や田園、樹林、丘陵に包まれて、自然を身近に感じながらくらすことができるまちをつくりまします。



(3) まちづくりの方針

1) 土地利用・市街地整備の方針

- ・瑞豊館など既存の施設などを活かし、地域の生活や文化を支える生活サービス拠点を形成します。
- ・国道454号沿いは、豊かな田園環境との調和を図りながら農産物販売所などの利用をすすめます。
- ・田園景観を構成する農地、緑豊かな斜面樹林、丘陵部の樹林、牧草地などの保全を図ります。
- ・浅水川の美化活動などの活発な住民活動を活かしながら市民参加のイベントや祭りなどを充実させ、地域の結びつきや安心感を高める地域コミュニティを形成するとともに、福地村や五戸町などの周辺地域との交流をすすめます。



2) 道路・交通体系整備の方針

- ・国道454号は十和田湖方面への観光ルートとして整備をすすめるとともに、幅員が狭い区間は、拡幅整備や歩道の改修整備などをすすめます。
- ・浅水川兩岸の道路は、日常生活で利用する歩行空間として整備をすすめます。
- ・生活の足として住民のニーズの高い、中心市街地や八戸駅などの拠点と結ぶバスサービスの充実を考えます。

3) 公園緑地・水辺環境整備の方針

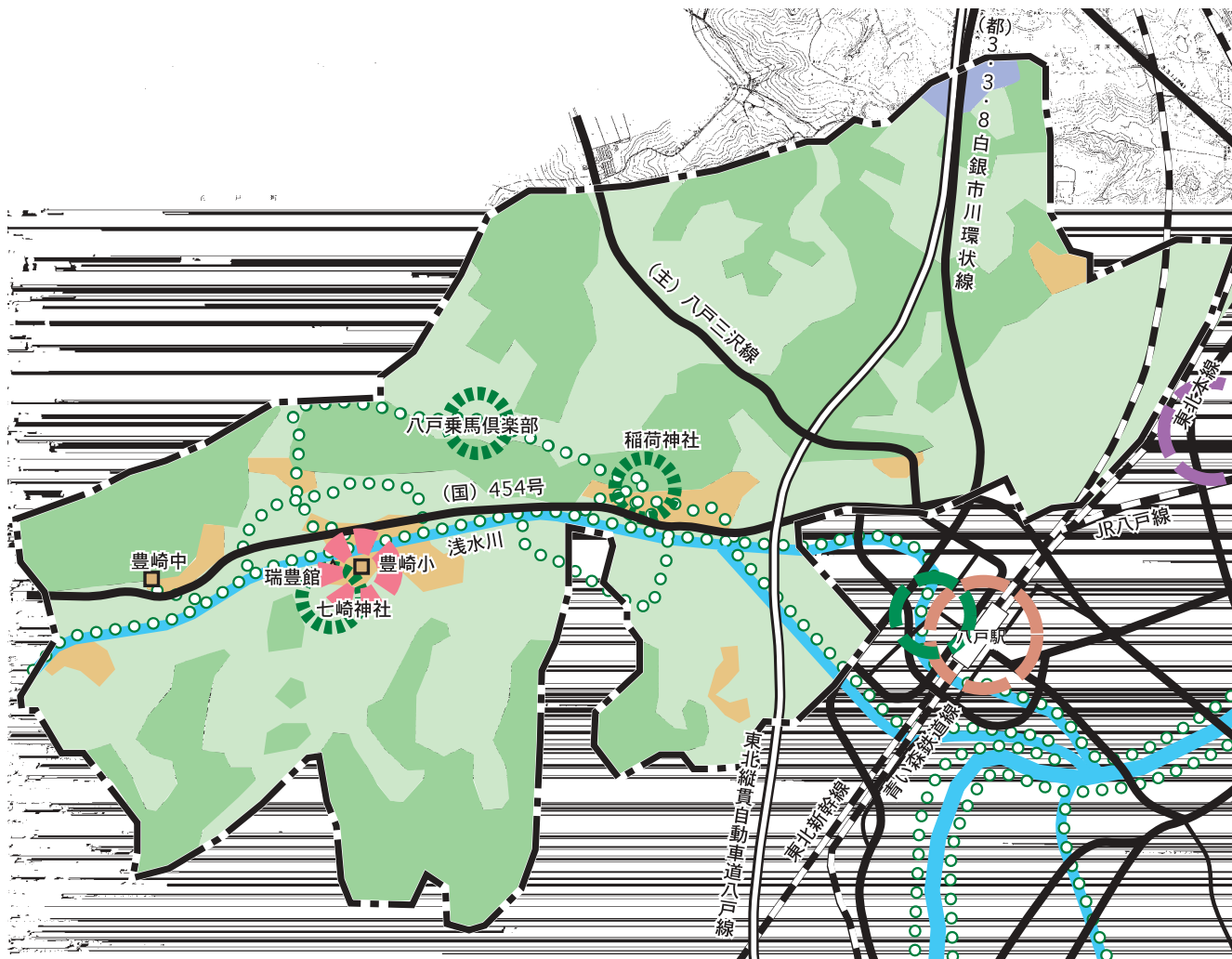
- ・浅水川を水とみどりの中心的な軸とするとともに、農業ゾーンを流れる並木のある用水路や集落内の生活道路、丘陵部の牧場などを活かして、水とみどりのネットワークを形成します。
- ・浅水川では、子供たちやお年寄りが気軽に憩えるような、四季が楽しめる植栽や安全な親水空間づくりなどをすすめます。
- ・七崎神社や稲荷神社などの周辺は、身近な自然的資源、歴史資源として保全を図るとともに、地域の里山としての憩いの場づくりをすすめます。
- ・緑豊かな丘陵や田園の自然的環境を活かして、カブト虫やホタルなどにふれ合える子供たちの遊びや学習の場づくりをすすめるとともに、農村の暮らし方を学ぶことができる農村体験型のグリーンツーリズム*をすすめます。

4) 景観形成の方針

- ・屋敷林、生垣、農家住宅などの昔ながらの農村風景が周辺の自然環境と調和する景観の形成を図ります。
- ・浅水川、集落、背後の田園と丘陵で構成される豊崎地域固有の風景を保全します。



豊崎地域の構想図



凡 例			
土地利用	交通などのネットワーク	都市施設	広域拠点
住宅系ゾーン	鉄道	学校	広域ゲート・交流拠点
集落ゾーン	高規格道路	公園	物流拠点
商業系ゾーン	幹線道路	その他公共公益施設	水とみどりの拠点
産業系ゾーン	補助幹線道路	生活拠点	
農地ゾーン	水とみどりのネットワーク	生活サービス拠点	
緑地ゾーン		生活うるおい拠点	
	0 500 1,000 2,000m		豊崎地域